

河川整備計画変更の報告について【県事業】（河川課）

○説明資料（パワーポイント）

⑤飛騨川圏域河川整備計画

・・・p1～7

河川整備計画変更の報告

飛騨川圏域河川整備計画

県土整備部 河川課

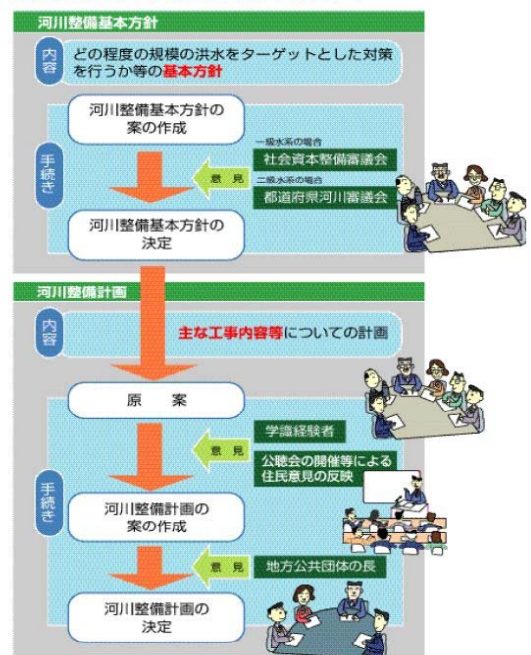
河川整備計画について

河川整備計画とは

河川法第16条の2に基づき、学識経験を有する者の意見を聞き、関係住民らの意見を踏まえて今後20～30年間程度を目安として、河川整備の進め方を定め、公表するもの

■地域の意見を反映した河川整備を推進

河川整備の計画について、地方公共団体の長、地域住民等の意見を反映する手続きを導入。



新しい河川法は、平成9年6月に改正され、同年12月に施行された。

河川整備計画と事業再評価との関係

- 河川整備計画の策定・変更の際には、河川法に基づき、学識経験を有する者、関係住民、関係市町村長の意見を聴くこととしており、「岐阜県河川整備計画検討委員会」等を設け、意見聴取を行う。
- 河川整備計画の策定・変更は、岐阜県公共事業再評価要綱により、事業再評価に代わる手続きとして定められている。

『岐阜県公共事業再評価要綱 第11条』(河川事業、ダム事業の取扱)
河川事業、ダム事業における再評価の実施手続きについては、(略)、河川整備計画の策定変更の際、(略)、事業評価監視委員会に代えて、河川整備計画検討委員会において審議を行うものとする。

- 河川整備計画の策定・変更の際、学識経験者から構成される検討委員会等が設置されている場合、本委員会に代わり審議を行うものとし、その審議結果を報告することとされている。

『岐阜県事業評価監視委員会運営要領第4の5』(河川整備計画の策定・変更の手続きによる場合の取扱)
河川事業、ダム事業については、河川整備計画の策定・変更の際、(略)、事業評価監視委員会に代えて、河川整備計画検討委員会等において審議を行うものとし、その審議結果について、事業評価監視委員会に報告するものとする。

2

整備計画の概要

- 計画名 : 飛騨川圏域河川整備計画
- 変更日 : 令和4年1月25日
【当初:平成12年12月】
- 流域面積 : 約2,170km²
- 流路延長 : 約137km
- 市町村 : 5市4町1村

高山市、中津川市、美濃加茂市、
郡上市、下呂市、川辺町、七宗町、
八百津町、白川町、東白川村



【】内は工事の施行内容

3

近年の主要な洪水

■平成12年の整備計画策定後も、令和2年、3年に甚大な浸水被害が発生

令和2年7月洪水

飛騨川を中心とする河川の氾濫や土砂災害、下流域の白川町ではバックウォーター現象による浸水被害が発生した。

全壊6戸、半壊37戸、一部破損81戸、浸水家屋（床上27戸、床下244戸）

令和3年8月洪水

白川での溢水が発生し、飛騨川では、復旧工事中の箇所が被災する事態も生じた。また令和3年5月の災害対策基本法の改正で新設された「緊急安全確保（警戒レベル5）」が、県内で初めて美濃加茂市及び坂祝町において発令された。

一部損壊34戸、浸水家屋（床上12戸、床下25戸）



飛騨川(高山市久々野町渚)(R2.7)



白川(加茂郡白川町河岐)(R2.7)

4

治水に関する現状と課題

■飛騨川では下呂市少ヶ野から河道改修を進めており、治水安全度は着実に向上しているものの、近年でも洪水被害が発生

■飛騨川

○概ね10年に一度程度発生する規模の洪水を安全に流下させることができない区間

- ・ 下呂市萩原町
- ・ 高山市久々野町渚
- ・ 高山市久々野町柳島

○概ね5年に一度程度発生する規模の洪水を安全に流下させることができない区間

- ・ 高山市久々野町無数河

■白川

○概ね5年に一度程度発生する規模の洪水を安全に流下させることができない区間

- ・ 白川町河岐

【河川整備内容の主な変更点】

- 令和2年7月豪雨において浸水被害が発生した渚地区、無数河地区、支川の白川、また治水安全度が低い飛驒川の柳島地区を河川工事施行区間に追加（下呂萩原地区は計画の見直し）

【追加事項】

- 河川堤防の強化対策の実施
- 河川構造物の長寿命化・耐震化の実施
- 魚道の機能確保など、河川整備・維持にあたって、自然と共生した川づくりを推進
- 水害リスク情報の共有等によるソフト対策の充実

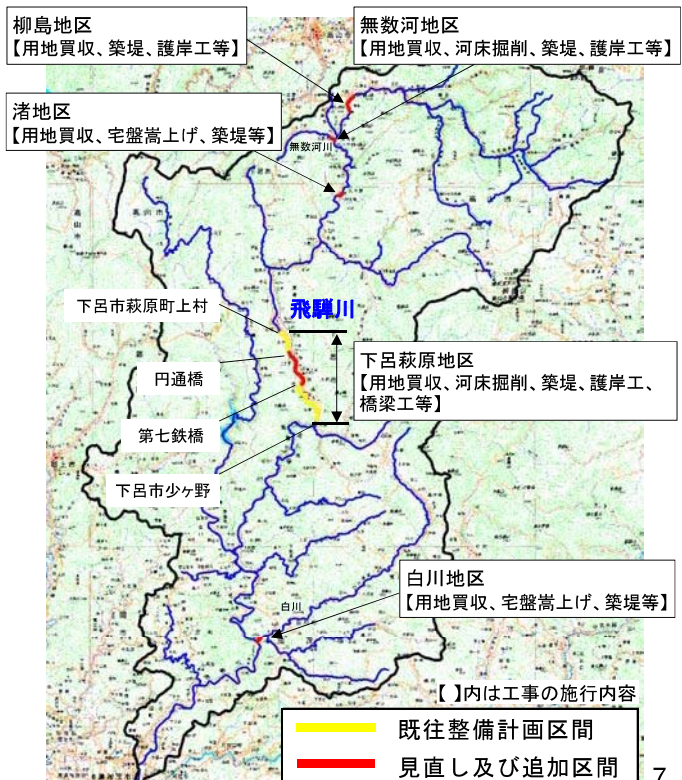
飛驒川及び白川の治水計画の変更概要

- 令和2年7月豪雨において浸水被害が発生した渚地区、無数河地区、支川の白川、また治水安全度が低い飛驒川の柳島地区を河川工事施行区間に追加（下呂萩原地区は計画の見直し）

飛驒川
無数河地区の浸水状況
(R2.7)



飛驒川 下呂萩原地区の浸水状況 (R2.7)



河川構造物の長寿命化・耐震化

■河川構造物については、所要の機能が保全されるよう、定期的な点検を行い、この点検結果を踏まえ、計画的に整備・更新等を行い、長寿命化を実施。また、河川構造物の耐震化も実施。(陸閘等)

【主な長寿命化対象施設】

施設名	河川名	所在地	設置年
みょうけんちよう 妙見町陸閘	馬瀬川	下呂市金山町	昭和62年

【妙見町陸閘】



8

魚道の機能確保

- 圏域内の魚道について、年1回以上の点検を実施
(「清流の国ぎふ・魚道カルテ」を用いた点検)
- 点検の結果、改善・改修を要する魚道について対策を実施

【魚道カルテを用いた点検】



竹原川(下呂市)の事例

清流の国ぎふ・魚道カルテ

魚道の諸元、状態、評価等を記入するチェックシートのこと。

岐阜県自然共生工法研究会魚道研究専門ワーキンググループ
「清流の国ぎふ・魚道カルテ手引書」より

河川整備に関する意見聴取

■ 整備計画を変更するにあたって、関係住民の意見を聴くため「地域検討会」を開催。また、学識経験を有する者などの意見を聴くため「岐阜県河川整備計画検討委員会」を開催

地域検討会(3回)



岐阜県河川整備計画検討委員会(1回)



R4. 1変更



地域検討会状況(R3.3.29)



検討委員会状況(R3.8.3)



【岐阜県河川整備計画検討委員会での意見内容】

- ・昨今、計画規模以上の出水による災害が頻発している。そのためにもソフト対策の充実が必要である。
- ・今回の整備は、安全・安心のための大事な事業である。スケジュールに沿ってしっかりと進めていただきたい。

10

事業の費用対効果

費用対効果(B/C)

$$= \frac{\text{効果(改修等の効果+残存価値)}}{\text{費用(改修等事業費+維持管理費)}}$$

単位：百万円

工事施行区間	総便益	総費用	B/C	備考
飛騨川 (下呂萩原、渚、無数河、柳島)	4,685	1,900	2.5	下呂萩原は残事業評価
白川	5,389	934	5.8	

(参考)河川整備計画検討委員会名簿

(R3. 8. 3時点) (五十音順、敬称略)

氏 名	役 職
神谷 眞弓子	東海学院大学 学長
後藤 加寿美	ガールスカウト岐阜県連盟 連盟長
小林 由紀子	特定非営利活動法人e-plus生涯学習研究所 代表理事
西條 好迪	一般財団法人自然学総合研究所 理事長・所長
清水 佳子	天神川を考える会
杉山 博文	学校法人華陽学園 理事長
鈴木 正人	(独)国立高専機構岐阜工業高等専門学校 教授
玉田 和浩	岐阜県漁業協同組合連合会 会長
都竹 淳也	飛騨市長(岐阜県市長会代表)
藤田 裕一郎	岐阜大学名誉教授
藤原 勉	岐阜県土地改良事業団体連合会 会長
三井 栄	岐阜大学社会システム経営学環 教授
横家 敏昭	白川町長(岐阜県町村会代表)
李 富生	岐阜大学流域圏科学研究センター 教授

12